

平成 28 年度黒部市総合教育会議 議事録

開会年月日
会場

平成 28 年 11 月 25 日（金）午後 3 時 30 分～4 時 45 分
黒部市役所 202・203 会議室

出席者
（6 人）

市 長 堀内 康男
教育委員 大丸 勝男（教育長職務代理者）、熊野 勝巳、
川崎 正美、前田 潤、国香 正稔（教育長）

出席職員
（13 人）

<市長部局>
総務企画部長 寺嶋 和義
総務課 課長補佐 行政係長 武隈 渉
<教育委員会事務局>
教育部長 御園 泰晃
事務局次長・学校教育課長 鍋谷 悟
生涯学習課長・ジオパーク推進班長 西中 雅博
スポーツ課長・フルマラソン推進班長 魚谷八寿裕
図書館長・図書館構想推進班長 中谷 松憲
学校給食センター所長 椿 悟明
こども支援課長 霜野 好真
学校教育課 学校教育班長 金山 努
生涯学習課 主幹 川端左起子
生涯学習課 主幹 佐々木隆一
学校教育課 課長補佐 庶務係長 神保 竜

会議開始

午後 3 時 30 分

事務局
（学校教育課長）
市長

只今から総合教育会議を始めます。はじめに市長からご挨拶いただきます。

皆さんご苦労様でございます。本日は総合教育会議を招集しましたところ、ご多用の中お集まりいただき、ありがとうございます。この総合教育会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、昨年度から設置されており、市長が招集するということになっております。

昨年の同時期には教育委員長と旧教育長という体制でありましたが、今年の 5 月から、この法律に基づく新しい教育委員会制度として、新教育長が任命され、新体制となって初めての総合教育会議となります。この会議は互いに独立した行政組織である市長部局と教育委員会がより一層強固な関係を構築し、教育行政に関するそれぞれの役割を認識するとともに、お互いが意思疎通し共通認識のもと教育を進めていくために設置されています。

本市では例年この時期に、来年度予算編成について教育委員の皆さんから意見をお聞かせいただき、できるだけ予算に反映させていくということで協議させていただいておりました。今回は総合教育会議の中で例年のように予算について意見をお聞きし、教育向上に繋げていきたいと思っております。限られた時間ではありますが、忌憚のない意

見をお伺いし意義のある会にしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局
(学校教育課長) それでは、これ以降の進行につきましては市長にお願いしたいと思っております。よろしく
お願いいたします。

市長 それでは会議を進めてまいりたいと思っております。はじめに「黒部市教育行政に関する意見交換」ということとあります。来年度予算に関する事、教育大綱で示されている当面の課題、取組みについてなど、どなたからでもご発言いただきたいと思っております。

委員 中学校大規模改造事業につきまして鷹施中学校と高志野中学校の統合の中学校に関する大規模改造事業の実施設計を来年度行いたいと思っております。桜井中学校は新築され、すばらしいものとなります。高志野中学校は改造ということになりますが、築30年であり、大規模改造に関して今後20年以上持てるような、すばらしいものにしてもらいたいと思いき、実施設計に多大なる予算をお願いいたします。

市長 平成32年度統合ということで、29年度に実施設計、30～31年度に工事ということになります。桜井中学校の校舎棟は来年7月に完成し、その後29年度後半から30年度にかけて体育館を工事し、31年度にグラウンド周辺の工事をするということになりますので、それらの工事との平準化を図る必要があります。平成30～31年度2年間で、どうするのか議論しなければなりません。

平成30年度から第二次総合振興計画が始まります。第二次総合振興計画の前期5年間で今議論されている市の大型事業としましては、図書館を核とした複合施設が平成32～33年に完成のイメージ、道の駅の計画もしており平成33年度完成を目標に議論が進められております。

委員 国際化教育推進については黒部市の大きな特徴として定着してきております。その一つの効果として英検3級の取得率が35%あり、他市町村に比べ大きく抜きん出ております。しかしながら英検3級を受けるには検定料がかかり、力がありながらも検定料が高いからと言う理由で受けない生徒がおります。検定料の補助をお願いしたいと思っております。また今年メーコン・ビブ郡への中学2・3年生派遣についてありがたく思っております。またぜひ推進していただきたいと思っております。

市長 国際化教育ということで英会話科を平成18年から始め10年が経過しました。国際化教育は本市の大きな特徴であり、成果についても説明できる形にしなければなりません。中学3年生で英検3級取得を目標とし、その成果を確認するために検定を受けることが必要であり、生徒が受けやすくすることは大切であります。

委員 特別支援教育についてスタディ・メイトを数多く配置させていただいております。現場からも非常に助かるという声が大きく、引き続きお願いします。

学力・学習状況調査についても黒部市が高い位置で推移しているのはスタディ・メイトの方々が多く入っていることも要因にあると思っております。

市長 スタディ・メイトについて引き続き、学校教育課と相談したいと思っております。

委員	<p>学校図書館について、業務がたくさんありハードであります。推進員は4名であります。増員をお願いします。人員を充実させることによって、子どもたちに対してもきめ細かな対応ができ、通いやすくなるということが考えております。</p> <p>奨学金事業について予算的な人数制限を取り、より多くの希望する子どもたちが受けられるようかたちにしていただきたいと思います。</p>
市長	<p>検討させていただきます。</p>
委員	<p>養護教諭不在時の代行職員の派遣について、現在は修学旅行や連合体育大会に代行職員を派遣していただいておりますが、宿泊学習にも拡充をお願いします。小学生に怪我や熱中症に対する知識を与えるために充実させたいと思います。</p>
市長	<p>検討させていただきます。</p>
委員	<p>男女出合いの場の創出について、婚活支援として市民会館でスイーツパーティーを開催しましたところ男性が22名、女性が20名参加で6組カップルが成立しました。現在年2回開催していますが、回数を増やしてみてもということと、相談窓口を設置してはどうかという意見があり、それに対する予算をお願いします。</p>
市長	<p>相談窓口はどういう場所を想定していますか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>今現在、それとは違いますがDV相談窓口を月1回しております。例えば月1回婚活支援の相談窓口を設置しまして、本人ではなくても家族の方などが来て相談したいとか、どんな制度がある、どこに行ったらどういうことができる等、相談できる場を設置できればと思っております。</p>
市長	<p>DV相談はどこでやっていますか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>市役所1階の相談室です。</p>
市長	<p>スイーツパーティーは参加料いくらですか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>男女とも2,500円です。積極的に来ていただいております。このほか、ふれあい交流館“あこやへの”でも実施されており、こちらも盛況であると聞いております。</p>
市長	<p>“あこやへの”での開催は、男女共同参画でしているものとは別ですか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>別途開催しております。また、黒部商工会議所青年部も独自に取り組んでおられます。</p>
市長	<p>相談窓口を設置するとすれば、DV相談とは違って工夫しなければなりません。</p>
委員	<p>各地区の公民館について、何に使っているか誰が使っているかよくわからないという意見があります。立派な建物があるのでPR活動や新規の企画を考えてもらい推進していただければと思います。</p>

市長 浦山などは実績が多くあるのでは。

事務局
(生涯学習課長) 年間通して使用していただいております。老人クラブなど高齢者が使うことが多いです。健康づくりや体操など、地区によってばらつきはありますが、女性が使うことが多いです。各地区公民館で自主的な事業を行っております。市はコミュニティづくり推進事業で支援しております。

市長 浦山をはじめ宇奈月の場合は小学校統合時の約束で統合した小学校の跡を交流センターのようなものにしてほしいということがあります。愛本、下立、浦山、内山と4箇所あり、音沢も防災等考えれば必要だということで今準備しています。三日市公民館は複合施設により、どうするかという問題があり、東布施公民館移転の話もあります。
今言われました通り、若い人達からは何に使っているか分からないというふうに取りられますので、PRはしていかないとはいけません。

委員 2020年事前活動誘致事業についてトップスポーツの合宿誘致に予算をいただけないかと思えます。

市長 事前キャンプの誘致については女子バレーボールかアーチェリー、場合によっては両方、努力したいと思っております。そのために来年度予算が必要かどうかはまだ聞いていませんが、必要なら付けたいと思うし、合宿誘致でも気をつけないといけないのは直前合宿はほとんど地元には効果がないと言われておりまして、本気モードで練習に入ったら、地元との交流とかこちらが期待しているようなことはほとんどなく、来るチームにもよりますが、自分達の練習に集中したいというふうになります。その前の合宿と直前と両方で来てもらえると良いが、直前だけというのは気をつけないとはいけません。
オリンピックの基準を満たすには費用がかかりまして、合宿誘致できる体育館にするにも床マット等費用がかかりますので、我々が期待できる合宿誘致ができるならば必要だと思っておりますが、関係機関と協議させていただきたいと思えます。

委員 少年少女のスポーツ育成について、スポーツする子どもたちが健康で伸びていくため、怪我の予防等、市民病院と連携しながら拡充してもらいたいと思えます。

市長 非常に大事なご意見です。予算は必要ですか。

事務局
(スポーツ課長) 一部個人負担を受けながら、それに上積みする形で市の予算として執行しています。

市長 予算次第では拡充できるということですか。

事務局
(スポーツ課長) 毎年、上積みしながらやってきているところですが、その様子を見ながら予算要求しておりますので、もっと皆さんに知っていただいて、予算拡充が必要であれば要求していきたいと考えております。

市長 病院の受け入れは可能ですか。

事務局 (スポーツ課長)	土日に受け入れていただいておりますので、受け入れられる範囲であれば大丈夫だと思います。野球肘を中心にスタートしましたが、今はバスケットや空手にも広めてきているところです。
市長	バスケットは出来てサッカーは出来ないとか範囲はありますか。
事務局 (スポーツ課長)	野球は主に肘、肩、バスケットは膝に偏重する傾向がありますが、スポーツ関節全般ということで受け入れてもらっています。
市長	できるだけ幅広く出来るようになればと思います。故障しないというのは大事であります。
委員	図書館について図書の整理もあり人員を増やすことを頭に入れていただきたいと思います。準備のためにＩＣタグを付けるにも一年かかると聞いています。
事務局 (図書館長)	仮に開館を平成 32～33 年とすると開館するには引越しがあり、業者レベルでの情報によると 2～3 ヶ月かかると言われています。その前にＩＣチップ化するとすると、そのためのＩＣの取り付け、機器の準備で約 1 年かかります。持って行くものを決めてあれば、すぐに取り付けできますが、現状は購入したものをストックしている状態であります。新しい図書館に持って行くもの、持って行かないものをある程度決めなければいけません。その下準備としてＩＣタグを付ける前の 1 年位は必要だろうと考えております。 現状で図書の整理を行える司書は育休中であり今は足踏み状態であります。少しでも早く手がけていきたいので正職員または臨時職員を増員し図書の整理をしていきたいというところでございます。
市長	複合施設について議論しているところですが、図書館については新しくなるという計画であります。今の面積の倍くらいの面積になり内容をどうするか、どのくらい予算がかかるか、費用対効果の議論と準備の段階の予算は別に考えなければなりません。移動等の準備については年次計画を立て、必要な予算は予算化して、説明してもらえればと思います。快適で皆に喜んでもらえる図書館にするには費用もかかります。
委員	学校給食センターの配管の腐食について予算を付けていただいて早期に改修いただきたいと思います。
事務局 (学校給食センター所長)	今年度地下ピットの改修をし、引き続いて天井蒸気配管の改修をしたいものです。
市長	やるしかないと思います。
委員	アレルギーについて学校ではエピペン持って来たり代替食で対応したりしておりますが、学校ではピリピリしております。前段階の給食センターでも代替食の区分けが必要であり大変であります。手も掛かることですし担当職員の増員や設備の充実等、配慮いただければと思います。
市長	食物アレルギーの範囲は広まっていますか。

事務局 (学校給食センター所長)	広まっていますが対応しているのは卵と乳の除去代替食です。それ以外は細かい情報提供をして気をつけてもらっています。
事務局 (教育部長)	その日の献立の成分表を保護者にも学校にもお渡しし、この日はこういう成分の食品が入っているので、除去して食べるか、代替食を自分で持ってくるかというような対応をしていただくことにしています。その成分が23品目まで増えてきています。来年度の子供達の様子を聞くと27~28品目まで増える可能性があり、細かい情報提供を行うことになり栄養教諭に負担がかかるということでもあります。それを手伝う臨時栄養士の配置をお願いできればと思います。 毎年、除去代替食または代替食が増えてきているので何らかの対策が必要であります。食器保管庫を大きなものを購入して当面しのげないかと思っております。
市長	食器保管庫とアレルギーの関係は。
事務局 (学校給食センター所長)	黒部市がとっている体制は一人一人専用の保存器を渡してあります。除去食や代替食を渡す時に個人名を書いた食器保管庫を持って渡しています。
市長	普通の食器と違うから保管庫に入らなくなるということですか。
事務局 (学校給食センター所長)	そうです。
市長	食器消毒保管庫を増やすスペースはありますか。
事務局 (学校給食センター所長)	今のものを取って倍のものを入れることは可能です。
教育長	夏に文科省が教員定数について財務省に要求を出したのですが、財務省の回答が11月に出され、子供達の自然減に対して文科省は教員定数が10年間で1万4千人減るくらい予算を要求したわけですけど、財務省は10年間で4万9千人減らし、それでも現状を維持できる教育ができるという話になっています。これだけいろいろなことを学校で引き受けている中で、何とか教員定数を減らさない工夫をしていかなければなりません。教育委員会から意見を出しても文科省止まりになり、財務省に届きません。この総合教育会議の機会にお願いしたいと思います。
市長	授業や学校行事と部活動との関係はどうですか。
委員	負担ではあります。
市長	それに対し、こうすればというような動きはあるのですか。現場から教育委員会に対しての意見はありますか。
委員	スポーツエキスパートは、つけていただいておりますが学校の思いと違うこともあります。それから先生達の負担とはいえ喜んでしているところもあり、教育的効果も高いですし、試合にも勝たせてあげたい、そうなるとなかなか休めません。市内中学校は部

活のない日を作っています。しかし土日に休めないと意味が無く、休める雰囲気を作っていかなければなりません。

市長 教育委員会が改善策を考えないと、恐らくもたないのではと思います。

委員 中学校は必ず部活に参加しないといけないのでしょうか。

委員 校則として全員の部活動に参加することになっています。部活動を皆に体験させることが教育的にも大切ということです。

市長 こういう議論を県や新川地区など何かの場ですることはありますか。

委員 県や新川地区の校長会であります。

市長 率直な議論になっていますか。

委員 実際に内規を見直して皆で大体似たものを作ろうとしているのは黒部くらいです。試合の遠征についてはエスカレートしないようにという通知がでています。

市長 児童生徒側も先生側も目を向けておかないといけません。
他に何かご発言ございませんでしょうか。無いようでありますので、総合教育会議の意見交換、議論を終わらせていただきたいと思います。

事務局 (学校教育課長) お疲れ様です。総合教育会議につきましては現段階では本日以降今年度中の開催は予定しておりません。開催の必要が生じた場合に、改めてご案内することとします。最後に閉会に当たり、教育長がご挨拶申し上げます。

教育長 市長にはこの総合教育会議を開催していただきありがとうございました。短い時間でしたが、それぞれ意見交換をすることができて貴重な時間となりました。力を合わせて子供達の健やかな成長を実現していきたいと思います。よろしくお祈りします。今日はありがとうございました。

事務局 (学校教育課長) これをもちまして平成 28 年黒部市総合教育会議を閉会します。